

コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.145 2025年9月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



利用者の安全を確保しつつ避難開始



2階エリアに利用者が避難完了
(会議室に22名、リハ室15名)

【避難指示の直後に災害対策本部を立ち上げ】

7月30日、岡山県に津波注意報が発令されたことを受け、倉敷市は沿岸部地域に避難指示を発令しました。当事業所は避難地域に隣接しているため、災害対策本部を立ち上げ、避難地域の確認や当日の利用

倉敷市の避難指示に即応し命を守る行動を实践

避難訓練ではなく「本番」で見えた職員の連携と利用者の安全確保

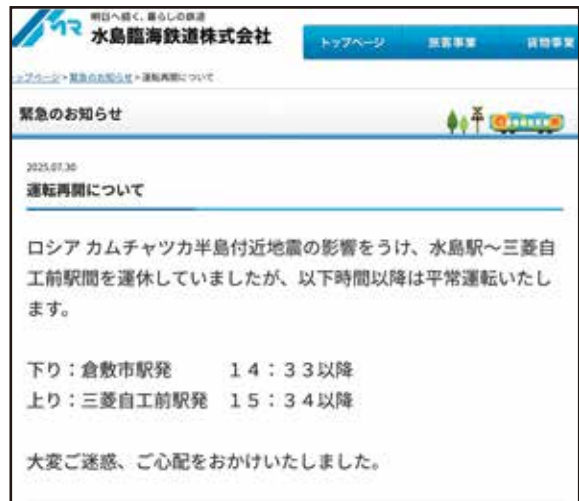
者数など、避難に関する情報を集約し、業務の優先度を決定したうえで避難行動を開始しました。

【安全な2階への避難】

市の情報によると、津波の到達予定時間は12時で、1mの浸水が想定されています。あかね通所リハビリテーションには37名の利用者がおられ、2階への避難が必要と判断しました。2階フロアの環境を整え、比較的動きの取れるAチーム22名は会議室へ、介護を要するBチームはリハ室へ避難することとし、誘導を開始しました。同時に、カルテや吸引器などの必要物品も移動しました。普段からの訓練の成果もあり、1階から2階への避難は約10分で完了しました。あかね訪問リハビリテーションの利用者1名も、念のため自宅から2階へ避難されました。

【ラジオやWEB情報を利用者へタイムリーに提供】

避難した利用者の不安を軽減するため、災害に関する情報をラジオやネットを通じて各部屋で配信しました。市の情報では、連島町鶴新田や南畝などにレベル4の避難指示



水島臨海鉄道の再開に合わせて全員の帰宅を決定



送迎時にご家族にお伝えする情報を送迎乗車職員にて統一し、丁寧に説明

【帰宅に際してはご家族へ利用状況を説明】

水島臨海鉄道の再開情報も入り、災害対策本部にて利用者の帰宅を決定しました。通所リハ利用者の送迎時には、

が出ており、自宅への帰宅タイミングは慎重に検討しました。

創志学園高等学校看護科 地域・在宅看護論実習



実習に参加した高校生と引率の教員と筆者（右から3人目）

創志学園高等学校看護科4年生8名が2グループに分かれて、それぞれ3日ずつ老健あかね通所リハビリテーションにて実習を行いました。今回の実習は、地域・在宅看護論実習として、病院・施設内でなく自宅で生活している方を支援するための制度や多職種連携の必要性を学び、経験する機会となっています。このカリキュラムは、今回の学生から始まった実習であったため、初めは緊張していましたが、家族へ普段とは異なる状況であったものの、2階で安全に過ごしていただいたことや、公共交通機関の再開に合わせて帰宅判断などについて、職員間で内容を整理し情報を統一して丁寧に説明しました。

通所リハビリテーション 責任者 山本武範

（老健あかね）

「もしもに備えた避難が大事」

幸いにも津波は観測されませんでした。それでも、利用者を預かる施設として「もしも」に備えた避難ができたことは、今後の災害対策に繋がる貴重な経験となりました。災害はいつ起こるかわからないからこそ、日頃から訓練や準備を重ね、安心できる施設づくりを進めていきます。

通所リハビリテーション 責任者 山本武範

事務局長 佐藤雅昭

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



利用者様への食事介助



利用者様の車イスからの移乗体験

倉敷中央高校3年生の 介護実習を終えて

5月27日から6月13日までの13日間、倉敷中央高校の3年生が老健あかねで介護実習を行いました。この実習は、学校で学んだ知識を現場で活かし、介護の仕事を実験する貴重な機会です。初めは不安や緊張もありましたが、利用者様とのふれあいを通じて「声掛け一つで気持ちが変わる」ことを実感し、「ありがとう」と言われる喜びや、相手の立場に立って考える大切さを学びました。実習生たちは、介護が「支える」だけでなく「共に生きる」営みであることに気づき、短期間ながらも自分自身の成長を感じていました。最終日には「寂しくなる」「もっと話したかった」と涙を流す利用者様もあれば、深い関係性が築かれていたことが伝わってきました。私たち職員も、学生の姿勢から多くの

年齢を問わず響く被爆者の声 「原水爆禁止世界大会2025年に参加して」



核兵器廃絶のとりくみを交流

気づきと力をいただきました。この経験が、彼らの未来に向けた大きな一歩となること

原水禁世界大会で、被爆者の方や世界中の方の話を聞いた。原爆資料館や平和記念式典に行く中で「平和とは何か」と普段考えられていなかったことを身近に感じる事ができました。私が印象に残っているのは、被爆者の方の言葉と資料館や話を聞いて涙を流す子どもの姿です。「戦争中だから爆撃機が飛んでいることが当たり前で慣れていた、まさか核兵器が使われるとは思っていなかった」「川には人が浮いた状態で何人も流れていた」「漫画に書いたような地獄そのもの」など今の生活ではあり得ない様子が何度も



平和へのメッセージを寄せました
(筆者左側)

を願っています。
(老健あかね
介護福祉士 篠岡美代子)

何度も出てきて緊張と恐怖を、「お前だけでも生きてと家族は言ったけど死んだ方がよかったのかな」と何度も思った、今も涙が出そう。「80年経っても世界は学んでいない」「今の人はもっと戦争を止めて」「怒りましょう、声をあげましょう」と話された被爆者の方の思いを、直接声で聞いて言葉の重みを強く感じました。そして原爆資料館や被爆者の方の話で涙を流す子どもを見て「平和を思うことに年齢は関係ない」と改めて思い、子ども達が不安を感じず平和に暮らせる世界を大人が作っていかないとけないのだと実感しました。今は、実際に被爆された

県道倉敷西環状線

第五福田小学校

ケアハウス
ちどり

特別養護老人ホーム
ももちどり

コープリハビリ
テーション病院
老健あかね

ホテルナンカイ
倉敷

愛あいサロン

水島駅

水島駅前バス停

国道430号線

イオンタウン倉敷店

〇お問い合わせ先

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-444-3212(代表)

受付時間 平日 9:00～16:30

土曜日 9:00～12:00

(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057

倉敷市水島東千鳥町1-60

ホームページ: <http://coopreha.jp/>

メールアドレス: info@coopreha.jp

広報委員会

発行責任者 笹 館 勝 人

診療表						
コープリハビリテーション病院 老健あかね						
外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]						
	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室	訪問 リハビリ
診療時間	午前 9:00～12:30	14:30 ～ 15:00	午後	9:00 ～ 16:50	9:30 ～ 11:00	9:00 ～ 16:00
月	9/8, 29, 10/27 中角 (月曜祝)			○		○
火	渡辺 本田	○ (予約制)	滝本 (予約制)	○		○
水	飯塚			○		○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○
金	香口 本田			○		○
土					○	○

医療福祉相談・連携室			
相談 受付時間	平 日	9:00～12:00 13:30～16:30	
	土 曜 日	9:00～12:00	
	日・祝 日	休み	

方々が話をしてくださり、核兵器の恐ろしさ、平和を思う気持ちを感じることができているけれど、時が進む中で被爆者の方がおられなくなつた

（コープリハビリテーション病院
医療福祉相談・連携室
社会福祉士 林代あさひ）



平和記念公園内にある原爆死没者慰霊碑

時、核兵器の廃絶がもっと難しくなってしまうのではないかと思います。そうならないためにも、声をあげて核兵器の廃絶に向かわなければいけないのではないかと強く思いました。

原爆死没者慰霊碑にある「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」という言葉の意味をしっかりと理解して、これからも平和について考え続けていきたいと思っています。